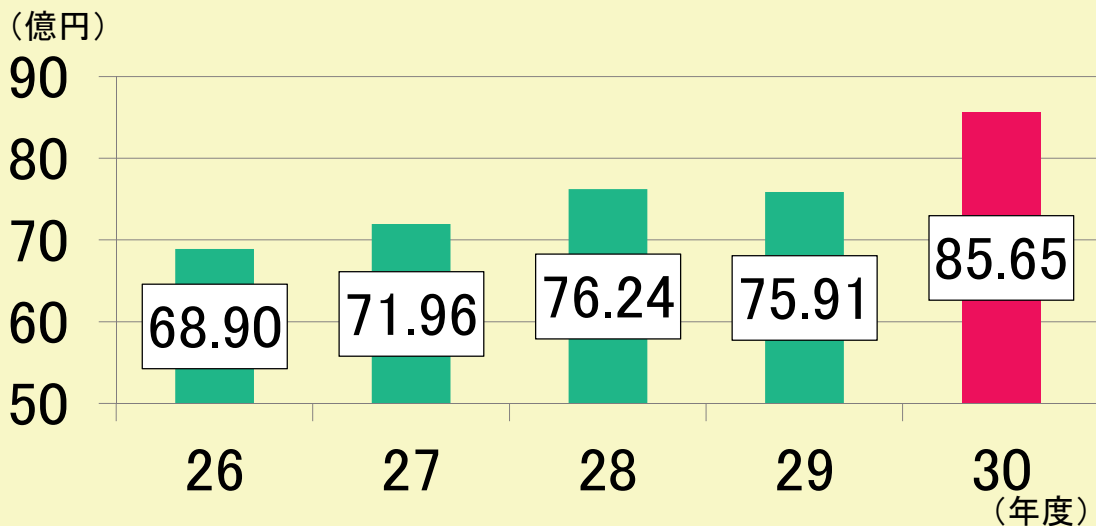


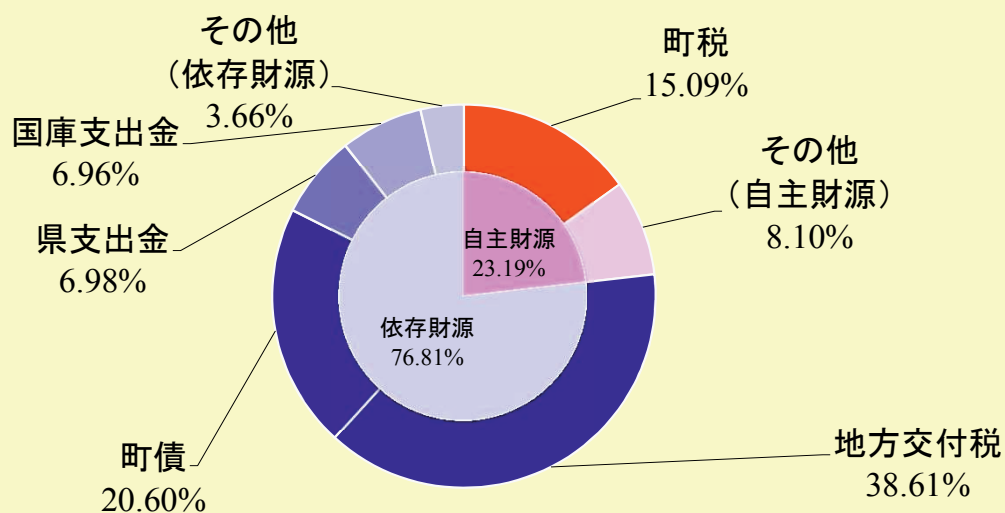
(1)平成30年度事業の説明について

担 当 部 署	ページ
総務課	1 ～ 7
企画課	8 ～ 11
商工観光課	12 ～ 13
健康対策課	14 ～ 18
福祉課	19 ～ 24
地域整備課	25 ～ 27
産業課	28 ～ 31
教育委員会事務局	32 ～ 36

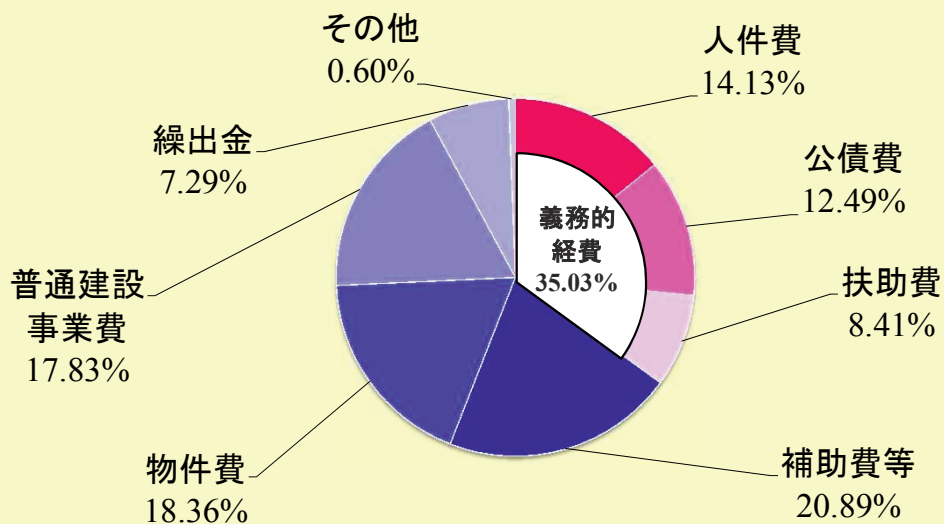
一般会計当初予算額の推移



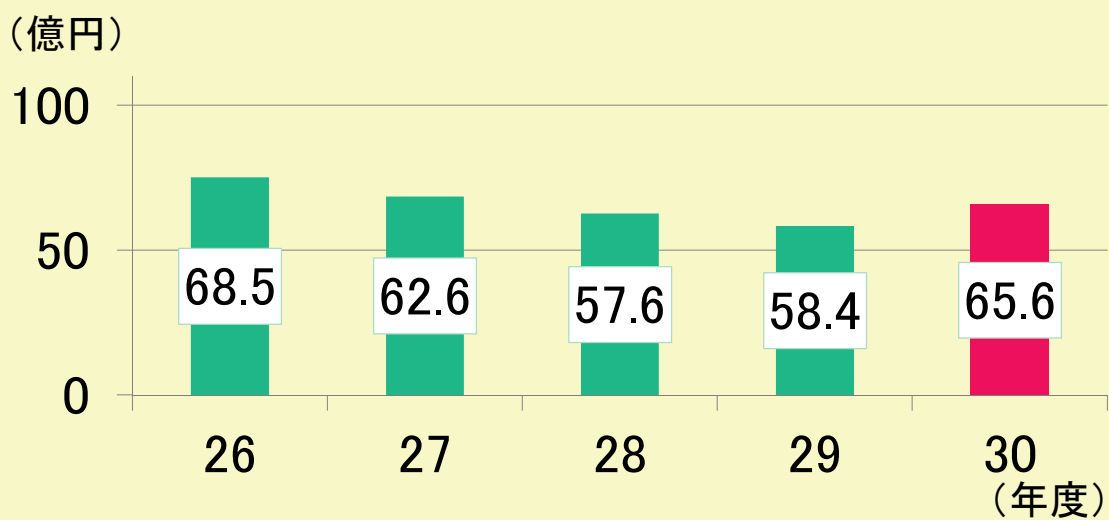
歳入 85億6千5百万円



歳出（性質別）

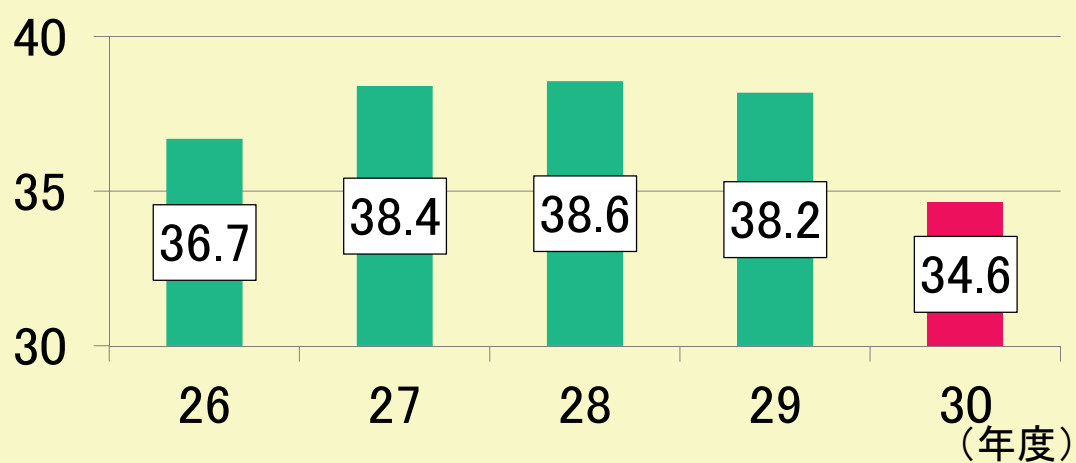


地方債(借入金)残高の推移



基金(貯金)残高の推移

(億円)



平成30年度一般会計予算

提出課 総務課

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)4. 財産管理費

(単位:千円)

事業名		財源内訳			
前年度 予算額	本年度 予算額	国・県支出金	起債	その他	一般財源
12,995	486,099		451,600	23,777	10,722
(事業内容の説明)					
平成30年から平成31年にかけて、本庁舎及び農村環境改善センターの大規模改修を行う。					
○消耗品費				100千円	
○監理委託料				13,122千円	
○改修に伴う引っ越し等費用				4,471千円	
○プレハブ倉庫借り上げ料				751千円	
○庁舎及び改善センター改修工事				462,255千円	
【工事内容】 別紙のとおり					
○庁用器具購入費(カーテン、ブラインド等)				5,400千円	
	合計			486,099千円	
(財源の説明)	合併特例事業債		451,600千円		
	公共施設等整備基金繰入金		23,777千円		

伯耆町役場本庁舎等改修工事【工事概要】

改修工事の目的	
伯耆町役場本庁舎及び伯耆町農村環境改善センターの長寿命化、バリアフリー化、省エネ化、防災・減災を	
目的とした改修工事を計画しています。	
改修工事概要	
長寿命化	鋼板屋根、屋上防水の改修、外壁劣化改修、内装劣化改修
バリアフリー化	町民の方が利用されるエリアにスロープを設置し、既存のスロープに於いても、幅の拡大、手摺を設置。屋外エリアでは、新たに屋根付の車椅子用駐車場を整備し、バス停からの動線も歩行者の利便性を考えたレイアウトとしています。(点字ブロックも合わせて改修します。)その他、各トイレの改修を行います。
省エネ化	照明器具をLED器具とし、空調機器も灯油が熱源の吸収式となっていますが、新たな空調機器にする事により、個別制御が可能になる為、各フロア毎に温度設定が出来る等のメリットがあり、ランニングコストが抑えられます。
防災対策	ガラスが破損した場合の危険箇所、飛散防止・赤外線カットフィルム貼り、キュービクル止水壁設置、応接室災害対策本部OAフロア化、庁舎入口に止水板設置、災害用トイレの導入

平成30年度一般会計予算

提出課 総務課

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)4. 財産管理費

(単位:千円)

事業名	廃止施設除却事業【新規】				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	33,786		31,700		2,086
(事業内容の説明) 利用を廃止した公共施設の除却を行う。 ○除却対象施設:旧日光公民館及び周辺施設(大滝141番地1周辺)					
【施設概要】					
・旧日光公民館:鉄骨造1階建:338㎡					
・旧日光小学校校舎:鉄筋コンクリート造2階建:641㎡					
・旧日光小学校体育館:鉄骨造1階建:493㎡					
○委託料 ・施設解体に伴うアスベスト調査委託料 802千円					
○工事請負費 ・施設解体工事費用 32,984千円					
合計 33,786千円					
(財源の説明) 過疎対策事業債(ソフト) 8,100千円					
合併特例事業 23,600千円					
合計 31,700千円					

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)11. 交通安全対策費

(単位:千円)

事業名	LED街灯整備事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
733	1,711	277			1,434
(事業内容の説明) 集落の街灯整備について、LED街灯の新設・更新に限って補助することで、地域の防犯体制の強化、地球温暖化対策に資する。					
【補助率】					
・LED街灯新設 対象経費(限度額46,000円)の10/10以内					
・LED街灯更新 対象経費(限度額30,000円)の1/2以内					
【申請数】					
・新設分申請額(事業費) 990,648円 7集落 23台					
・更新分申請額(事業費) 1,088,694円 9集落 34台					
(財源の説明) 安全なまちづくりLED防犯灯設置促進事業費補助金(県) 277千円					

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)13. 空家等対策推進事業

(単位:千円)

事業名	空家等対策推進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,534	2,479		2,400		79
(事業内容の説明) 空家等除却への補助を行うほか、協議会にて対策検討を行い、増加傾向にある空家等への対策を推進する。					
○協議会設置運営等					
委員報奨金 36千円					
事務費等 43千円 (消耗品、郵券料)					
小計 79千円					
○空家等除却補助金 2,400千円					
・集落活用事業:除却後集落にて跡地等を活用					
【補助率】10/10(上限1,200千円)×2件見込み 2,400千円					
(財源の説明) 過疎対策事業債(ソフト) 2,400千円					

平成30年度一般会計予算

提出課 総務課

(款) 7. 土木費

(項) 4. 住宅費

(目) 1. 住宅管理費

(単位:千円)

事業名	伯耆町震災に強いまちづくり促進事業【拡充】				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,748	3,891	2,244			1,647

(事業内容の説明)

町内の住宅及び集落公民館の耐震化の促進を図るため、補助等を行うもの。

<<補助内容>>

【拡充内容:耐震シェルター、屋根瓦耐震対策】

一般住宅

区分	対象経費上限額	補助率	補助額上限	件数	予算計上額
住宅耐震診断	111千円	本人負担なし(町で実施)		5件	555千円
対象経費上限額を超える部分は、町が負担する。				1件	90千円
住宅補強設計	240千円	2/3	160千円	5件	800千円
耐震改修	-	2/3又は1/3	1,000千円	1件	1,000千円
補助金額は、改修費用の2/3(S56年以前建築)又は1/3(S56~H12建築)と100万円のいずれか低い方					
耐震シェルター	-	23%	822千円	1件	822千円
屋根瓦耐震対策	-	1/3	300千円	1件	300千円
計				12件	3,567千円

集落公民館(昭和56年5月以前の木造が対象)

区分	対象経費上限額	補助率	補助額上限	件数	予算計上額
住宅耐震診断	無	本人負担なし(町で実施)		1件	132千円
住宅補強設計	240千円	4/5	192千円	1件	192千円
耐震改修	-	4/5	3,000千円	0件	0千円
補助金額は、改修費用の4/5と300万円のいずれか低い方					
計				2件	324千円

<<財 源>>

区分	国		県		補助金計
	補助率	補助金額	補助率	補助金額	
住宅耐震診断	1/2	412千円	1/4	162千円	574千円
住宅補強設計	1/3	464千円	1/6	240千円	704千円
耐震改修	1/2	500千円	1/4	250千円	750千円
耐震シェルター	11.5%	94千円	5.75%	47千円	141千円
屋根瓦耐震対策	1/6	50千円	1/12	25千円	75千円
計	-	1,520千円	-	724千円	2,244千円

平成30年度一般会計予算

(款) 8. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費 (提出課 総務課)
(単位:千円)

事業名	消防・防災対策事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
12,310	12,982	1,674			11,308

(事業内容の説明)

平時から災害に備えた対策事業を行うことで、被害防止、軽減を図り住民の身体、生命、財産の保全に寄与する。

○消防施設整備補助金

各集落の消防施設整備事業に対し補助を行い、消防施設の整備拡充を図る。

集落補助金(18集落、19事業) 2,039千円

【財源】

一般財源 2,039千円

○集落防災活動促進事業補助金

地域の自主的な防災活動を推進する活動に対し補助を行い、被害の軽減を図る。

集落補助金(1集落 1事業) 53千円

【財源】

一般財源 53千円

○家具転倒防止等器具補助金

制度の説明

地震発生時において、居住用建物内の家具の転倒等による被害を軽減するため、家具転倒防止器具等の購入又は取付けを行う者に対し、補助金を交付する。

区分	補助上限額	補助率	件数	予算計上額
家具転倒防止器具購入補助金	20千円	1/2	50件	500千円
器具等購入費・取付け補助金	20千円	10/10	25件	500千円
取付補助は、高齢者世帯・生保世帯等に限定				
計			75件	1,000千円

【財源】

一般財源 1,000千円

○ハザードマップ作成委託料(平成30年度末頃各世帯に配布予定) 3,348千円

【財源】

防災・危機管理対策交付金(県) 1,674千円

一般財源 1,674千円

○その他

防災会議委員報酬 43千円
 災害対策本部関係(時間外手当等) 823千円
 災害対策本部関係(備蓄品関係) 437千円
 自主防災組織関係(自主防災組織訓練消耗品等) 343千円
 防災活動車、防災広報車関係 232千円
 衛星電話等通信運搬費 399千円
 避難所看板設置業務委託料 1,906千円
 災害時メール配信委託料 713千円
 災害時等小型無人航空機運用業務委託料 260千円
 消防施設等修繕工事費 1,000千円
 消防・防災対策用備品購入費 386千円

※消防・防災対策事業については、防災計画策定事業、災害対策本部設置事業、自主防災組織育成事業非常備消防事務費及び耐震性貯水槽整備事業のうち消防施設整備補助金を統合した。

平成30年度一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	仕事と交流による生涯活躍のまちづくり事業(ワーキングコミュニティスペース(WCS))【新規】				
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
国・県支出金			起債	その他	
0	25,850	10,000	15,800		50

(事業内容の説明)

役場溝口分庁舎に高齢者等が集い、軽作業、運動、コミュニティ醸成を行う、ワーキングコミュニティスペース(WCS)を整備し、高齢者等が定期的に外出する機会をつくり、健康寿命の延伸を図るとともに公共施設の有効活用を図り、過疎地域の活性化に資する。

◎ワーキングコミュニティスペースの概要

構成:ワーキング部門⇒製造業の軽作業ほかIT系業務

(ワーキング時間 3時間~4時間 週2~3日程度)

コミュニティ部門⇒運動プログラム(スタジオプログラム、サーキットトレーニングマシン)

コミュニティ醸成プログラム

運営主体:WCS運営協議会(構成:伯耆町、民間企業、各種団体等)

会 場:伯耆町役場溝口分庁舎(WCS4F)

運営経費:ワーキング部門の業務手数料、コミュニティ部門の会費収入

(事業費内訳)

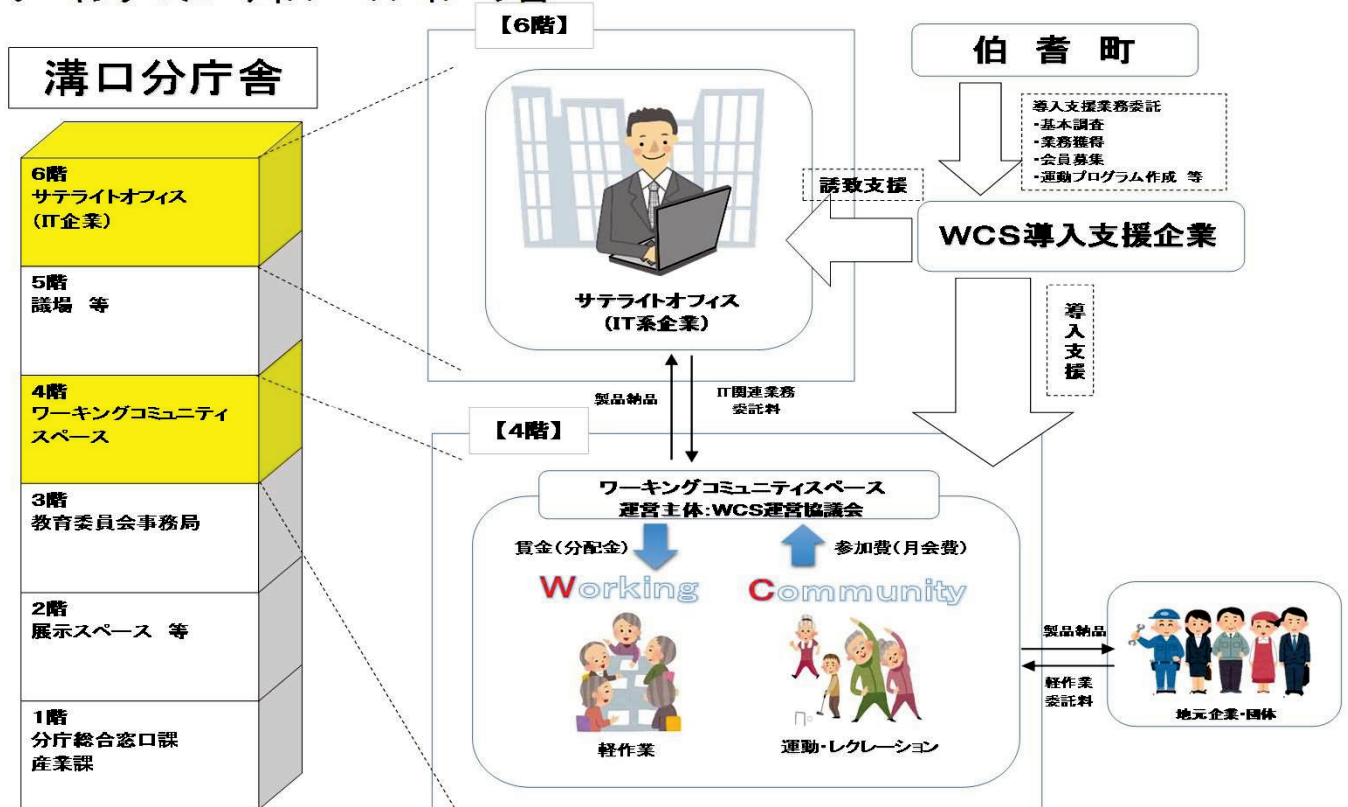
(単位:千円)

科目等	内 容	金 額	備 考
委託料	WCS運営支援委託料	10,000	基本調査、戦略策定、運動プログラム・マシン選定、WCS開業支援、人材育成、業務獲得、その他
工事請負費	施設改修工事	6,015	床張替・ブラインド・壁等内装、防音、照明等工事
備品購入費	WCS作業用備品	2,404	テーブル、イス、ロッカー、衝立、パソコン、複写機
	トレーニング備品	5,962	トレーニングマシン、有酸素マシン、測定機器他
	コミュニティ備品	1,469	音響機器
合 計		25,850	

(財源内訳)

過疎地域等自立活性化推進交付金	10,000
過疎対策事業債	15,800
一般財源	50

ワーキングコミュニティスペース イメージ図



平成30年度一般会計予算

提出課 企画課

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)10. 地方バス路線運行維持対策費 (単位:千円)

事業名		地方バス路線維持対策事業																											
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																											
		国・県支出金	起債	その他	一般財源																								
115,611	124,058	4			124,054																								
(事業内容の説明)																													
○安全・安心な生活を実現するために、広域バス路線の維持を行う。 住民生活に必要な広域バス路線を維持するため、日ノ丸自動車(株)への補助等を行う。																													
<ul style="list-style-type: none"> ・日交バス水浜線回し場借上料 (遠藤地内 115㎡) 15千円 ・日ノ丸自動車(株)への事業運営補助金 																													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> 根雨線(米子駅～永江団地～JA溝口) 根雨線(米子駅～溝口～日野病院) 岩屋谷線(米子駅～岩屋谷) </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;">}</td> <td style="width: 45%; vertical-align: middle;">町内を通過する広域路線バス3路線について、赤字部分に対し、町内を走る</td> </tr> </table>						<ul style="list-style-type: none"> 根雨線(米子駅～永江団地～JA溝口) 根雨線(米子駅～溝口～日野病院) 岩屋谷線(米子駅～岩屋谷) 	}	町内を通過する広域路線バス3路線について、赤字部分に対し、町内を走る																					
<ul style="list-style-type: none"> 根雨線(米子駅～永江団地～JA溝口) 根雨線(米子駅～溝口～日野病院) 岩屋谷線(米子駅～岩屋谷) 	}	町内を通過する広域路線バス3路線について、赤字部分に対し、町内を走る																											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">補助金見込額</td> <td style="width: 30%;">①路線維持費(嵩上げ分)補助金</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">4,098</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②運行費(路線維持費補てん分)補助金</td> <td style="text-align: right;">7,550</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③広域バス路線維持費補助金</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">11,695</td> <td>千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						補助金見込額	①路線維持費(嵩上げ分)補助金	4,098	千円				②運行費(路線維持費補てん分)補助金	7,550	千円				③広域バス路線維持費補助金	47	千円			計		11,695	千円		
補助金見込額	①路線維持費(嵩上げ分)補助金	4,098	千円																										
	②運行費(路線維持費補てん分)補助金	7,550	千円																										
	③広域バス路線維持費補助金	47	千円																										
計		11,695	千円																										
○住民生活や活動に必要な「スクールバス」「デマンドバス」「外出支援サービス」「研修バス」を運行するために、地域交通特別会計への繰り出しを行う。																													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">事業費分 (一般管理・車両運行・配車センター)</td> <td style="text-align: right;">96,647</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費分</td> <td style="text-align: right;">13,920</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>公債費分(過疎債借入利子分)</td> <td style="text-align: right;">1,781</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">112,348</td> <td>千円</td> </tr> </table>						事業費分 (一般管理・車両運行・配車センター)	96,647	千円	人件費分	13,920	千円	公債費分(過疎債借入利子分)	1,781	千円	計	112,348	千円												
事業費分 (一般管理・車両運行・配車センター)	96,647	千円																											
人件費分	13,920	千円																											
公債費分(過疎債借入利子分)	1,781	千円																											
計	112,348	千円																											
<財源内訳>																													
県補助金		4千円	(広域バス路線維持費補助金)																										

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)11. 交通安全対策費 (単位:千円)

事業名		交通安全対策事業						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳						
		国・県支出金	起債	その他	一般財源			
1,290	1,249				1,249			
(事業内容の説明)								
○安全・安心な生活を実現するために、交通安全運動を推進する。 住民や各種団体に対し、交通安全運動への参加を呼びかけ、意識の向上と啓発を行う。								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> 全国交通安全運動への協力・参加呼びかけ (春・秋) 交通安全県民運動への協力・参加呼びかけ (夏・年末) 江府町との合同啓発活動実施 (年4回) 地域住民と指導員による啓発立ち番 (毎月1日・15日) </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;">}</td> <td style="width: 35%; vertical-align: middle;">のべ参加予定人数 約2,800人</td> </tr> </table>						<ul style="list-style-type: none"> 全国交通安全運動への協力・参加呼びかけ (春・秋) 交通安全県民運動への協力・参加呼びかけ (夏・年末) 江府町との合同啓発活動実施 (年4回) 地域住民と指導員による啓発立ち番 (毎月1日・15日) 	}	のべ参加予定人数 約2,800人
<ul style="list-style-type: none"> 全国交通安全運動への協力・参加呼びかけ (春・秋) 交通安全県民運動への協力・参加呼びかけ (夏・年末) 江府町との合同啓発活動実施 (年4回) 地域住民と指導員による啓発立ち番 (毎月1日・15日) 	}	のべ参加予定人数 約2,800人						
○交通安全の啓発活動を行っている住民団体へ助成を行い、住民活動の推進をはかることで意識の向上と啓発を行う。								
伯耆町交通安全推進協議会・交通安全指導員協議会・交通安全保護者の会連絡協議会								
○広域交通安全啓発団体に協力し、交通安全に対する啓発活動を推進する。								
負担金 (日野川地区交通安全協会・鳥取県高速道路交通安全協議会)								
○運転免許証を自主返納された方へ町デマンドバス回数券支給								
回数券3冊(11枚つづり(100円券):3,000円分) 20名分								
対象者:満70歳以上で免許証を自主返納された方、障がいのため免許証を自主返納された方								
(事業費内訳) (単位:千円)								
科目等	内容	金額	備考					
報酬	交通安全指導員報酬	621	41,400円×15名					
旅費	普通旅費	9	交通安全対策各種会議参加旅費					
需用費	消耗品費	318	運動用啓発物資・のぼり旗等					
	光熱水費	13	回転灯電気代(3箇所:須村、吉定、殿河内)					
	施設修繕料	14	回転灯修繕費(3箇所:須村、吉定、殿河内)					
役務費	通信運搬費	60	運転免許証自主返納者支援(デマンドバス回数券支給)					
負担金補助及び交付金	各種団体負担金	214	日野川地区安全協会 県高速道路交通安全協議会					
合計		1,249						

平成30年度一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位:千円)

事業名	区長協議会				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,031	14,097			7,925	6,172
(事業内容の説明) 住民参画による地域づくりを確立するため、自治会の代表者で構成する区長協議会を支援し、町行政との連携及び自治組織の振興を図る。					
(事業費内訳)					
・地域自治活動交付金		13,816千円			
集落の自治活動を支援するため、各集落に交付金を交付するもの。 1世帯当たりの交付単価4,000円(世帯数は平成29年度実績数参考) 4,000円×3,292世帯=13,168,000円 区長協議会出席分(4月・11月・1月に開催予定) 2,400円×90集落×3回=648,000円					
・区長協議会交付金		270千円			
区長協議会が実施する環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修などの事業費を支援					
・普通旅費(区長協議会先進地視察研修随行)		11千円			
(2,600円×4人分)		合計 14,097千円			
(財源内訳)					
地域振興基金利子		7,925千円			

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位:千円)

事業名	有線放送施設維持事業(補助金事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,176	1,083				1,083
(事業内容の説明) 集落有線放送施設の修繕費用等を補助することによって、地域活動を支援する。					
(事業費内訳)					
・使用料及び賃借料(電柱共架料・土地使用料)		676千円			
・有線放送施設整備補助金(集落要望分、緊急対応分)		407千円			

平成30年度一般会計予算

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 諸費 提出課 企画課
(単位:千円)

事業名	公共施設整備事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
11,360	1,075				1,075
(事業内容の説明) 集落公民館、公園、周辺設備等の集落が管理する施設の整備費を補助することにより、集落負担の軽減を図るとともに、地域住民の連携意識高揚及び住民参加によるまちづくりを推進する。					
(事業費内訳)					
		《申請集落数等》		《補助金額》	
○集落公民館等整備事業		1件		169千円	
		緊急対応分		100千円	
		合計		269千円	
○その他付随施設整備事業		4件		706千円	
		緊急対応分		100千円	
		合計		806千円	

平成30年度 公共施設整備補助金申請一覧表

事業名	集落名等	事業概要	補助率 (%)	補助対象 事業費	補助申請 額
公民館等の 整備拡充等	大原(岸本)	公民館エアコンの更新	45	377,460	169,000
	各集落	災害等緊急対応分			100,000
	計			377,460	269,000
その他付随 施設整備	口別所	集落管理駐車場の舗	45	435,240	195,000
	田園町	集落内溜桝用蓋交換	45	244,080	109,000
	大江	公民館敷地の舗装	45	516,240	232,000
	根雨原	公民館敷地の段差解	45	378,000	170,000
	各集落	災害等緊急対応分			100,000
	計			1,573,560	806,000
合計				1,951,020	1,075,000

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費 (単位:千円)

事業名	協働のまちづくり推進事業・地域活動補助事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,434	848				848
(事業内容の説明) 住民参加による協働のまちづくりを実現するために下記の事業を実施する。 また、住民の自主性・主体性に基づいて行われる地域の活性化のための活動を支援する。					
○協働のまちづくり推進事業					
(事業費内訳)					
		・地域再編コーディネート事業		30千円	
		・集落活性化モデル事業		240千円	
		・協働のまちづくり事業支援交付金(二部・日光)		380千円	
		・旅費		3千円	
		・需用費		15千円	
		合計		668千円	
○地域活動補助事業					
(事業内容の説明) 住民の自主性・主体性に基づいて行う地域活性化の活動に対して、補助金を交付することにより、住民活動のパワーアップを図るとともに、地域コミュニティを活性化し、個性を活かしたまちづくりの推進を図る。					
(事業費内訳)					
申請団体数	1件	交付申請済分		45千円	
		年度途中申請見込分		135千円 (3件分)	
		合計		180千円	

平成30年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	本気で頑張る産業支援事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,000	2,500				2,500
(事業内容の説明)					
積極的に地域特産品振興を図るため、町内グループ、企業等が本格的な事業化・商品化を行う場合、その事業段階に応じた集中支援を行う。					
(実施状況)					
	特産品等開発支援	市場開拓	競争力強化	国・県等制度利用	計
平成20年度	1件 1,000,000円	1件 250,000円	2件 221,928円	1件 70,557円	5件 1,542,485円
平成21年度	2件 2,000,000円	0件	2件 260,000円	5件 1,182,000円	9件 3,442,000円
平成22年度	1件 1,000,000円	1件 153,000円	1件 202,000円	1件 500,000円	4件 1,855,000円
平成23年度	0件	1件 250,000円	1件 224,000円	5件 1,385,000円	7件 1,859,000円
平成24年度	0件	2件 500,000円	1件 250,000円	3件 1,105,000円	6件 1,855,000円
平成25年度	0件	1件 250,000円	0件	3件 856,000円	4件 1,106,000円
平成26年度	0件	1件 250,000円	1件 250,000円	3件 1,073,000円	5件 1,573,000円
平成27年度	0件	0件	1件 250,000円	4件 1,755,000円	5件 2,005,000円
平成28年度	1件 1,000,000円	4件 778,000円	2件 420,000円	1件 150,000円	8件 2,348,000円
平成29年度	1件 1,000,000円	1件 110,000円	3件 531,000円	0件	5件 1,641,000円
※枠計上 ※平成29年度は見込み					

平成30年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位:千円)

事業名	観光振興一般			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
7,218	13,996	4,077	1,200	8,719
(事業内容の説明)				
○本町の観光振興を図るために各種団体に負担金を交付し広域で連携した観光振興を図る。				
(事業計画)				
区分	予算額(千円)	説明		
鳥取県観光連盟負担金	462	県・市町村・観光関係団体で観光連盟を組織し、観光推進を図る。 ○県外旅行エージェンツ招致及びツアー商品開発売込 ○全国主要都市での観光PRイベントにて、県産品紹介 ○とっとり観光親善大使の委嘱を実施し、県外観光PRに派遣		
山陰観光連盟負担金	90	鳥取・島根両県で観光連盟を組織し、山陰の観光推進を図る。 ○山陰誘致ポスターの作成 ○山陰観光ガイドブックを作成し、JR西日本各主要駅及び旅行代理店に設置		
コンベンション開催助成交付金	500	大山ロイヤルホテルなど伯耆町で開催される一定規模以上のコンベンション大会に対し、県及び本町にて、対象事業に助成金を交付し、大会運営を支援する。		
大山山麓観光推進協議会負担金	359	広域的な観光推進を図るため大山山麓エリア9市町村により協議会を設置し、エリア内の観光客誘致を行う。 ○大山王国ホームページ掲載維持管理 ○広域観光マップ「大山遊悠絵図」を作成し、全国へ配付		
大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	600	点在する観光地を有機的に接続して周遊型大山観光を実現するため関係市町村、関係団体と連携して、周遊バスを運行する。 ○4月から11月までの紅葉シーズンまで運行し、延べ10,000人の利用を見込む。		
その他負担金	106	中海宍道湖大山推進協議会負担金	10,000円	
		国際定期便利用促進協議会負担金	36,000円	
		米子空港利用促進懇話会負担金	60,000円	
NPO法人地域活性化センター負担金	162	恋人の聖地年間参画費 ○各種広報媒体の作成(HP、ポスター作製等)及びメディアへの情報提供、関連イベントの共同告知等による「恋人の聖地」のPRを行う。		
県内スキー場共同企画事業負担金	147	県内のスキー場共同にて、チラシ、ポスターの作成及び、雑誌掲載等実施し、スキー場のPRを行う。		
大山冬季交通対策協議会関係	115	交通誘導看板設置委託料	25,000円	
		冬期交通対策協力金	90,000円	
各イベント補助負担金	3,200	伯耆町リゾート交流会負担金	300,000円	
		フェスティバル・ディア・マスミズ実行委員会補助金	1,200,000円	
		大山榭水高原スキー場開き祭補助金	100,000円	
		とっとりバーガーフェスタ実行委員会補助金	500,000円	
		きしもと豊年盆踊り花火大会補助金	1,100,000円	

平成30年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名		健康教育事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,241	5,825	514		936	4,375
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
①個別健康教育					
すべての生活習慣病の誘因と言っても過言でない糖尿病に対して個別の生活習慣を考慮し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等による効果的な個別指導・相談を行う。					
○耐糖能異常検査・保健指導					
②集団健康教育					
生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識や実践力の普及を図る。					
○糖尿病予防教室（5回）					
○糖尿病予防教室OB研修会（1回）					
○糖尿病予防講演会（1回）					
○生活習慣病予防講演会（1回）					
○歩きんぐの集い（6月2日丸山地区内で実施）					
○ほうき体操講習会（希望団体へ講師派遣）					
○高齢者健康運動教室（まめまめクラブ）					
※今年度57集落で実施					
○スクエアステップ教室（岸本公民館）					
○水中まめまめクラブ（ゆうあいパル）					
○アクアフィットネス教室（ゆうあいパル）					
○健康運動アドバイザー研修会・養成講座					
【事業費】					
謝礼		280千円			
需用費		252千円			
検診委託料		46千円			
健康教室委託料		5,229千円			
自動車借上料		18千円			
計		5,825千円			
≪財源≫					
健康増進事業費県補助金		514千円			
教室等参加手数料		410千円			
諸収入（血液検査料等）		183千円			
後期高齢者医療特別対策補助金		314千円			
鳥取看護大学実習指導料		29千円			
一般財源		4,375千円			

平成30年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	検診事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
34,494	32,331	1,521		2,450	28,360
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
<p>がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を行う。 検診の形態は、公益財団法人鳥取県保健事業団に委託して実施する集団検診と、各医療機関に委託して実施する医療機関個別検診の2種類。 がん検診は健康増進法に基いての努力義務として、また、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診は健康増進法に基づき、がん検診とともに実施する。 また、後期高齢者医療保険の被保険者を対象とした人間ドックを実施する。 ※ピロリ菌検査は年齢が20歳、35～70歳で、過去に検査されていない方が対象。個人負担はなし。</p>					
【実施内容】					
○集団検診					
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査・結核肺がん検診 ・大腸がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨量検診 ・肝炎ウイルス検診 ・前立腺がん検診 					
○医療機関委託検診					
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨粗鬆症検診 					
○後期高齢者人間ドック					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度中に偶数年齢になる後期高齢者医療被保険者で人間ドックを希望される方 70名 					
【事業費】					
	短期雇用賃金		13千円		
	消耗品費		1,182千円		
	印刷製本費		194千円		
	通信運搬費		110千円		
	検診委託料		28,371千円		
	人間ドック委託料		2,450千円		
	自己負担金返還金		11千円		
	計		32,331千円		
《財 源》					
	・健康増進事業費補助金	533千円		(健康診査、肝炎ウイルス検査分)	
	・休日がん検診支援事業	400千円			
	・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業	20千円			
	・大腸がん検診特別推進支援事業	28千円			
	・鳥取県後期高齢者医療特別対策補助金	2,450千円			
	・鳥取県市町村交付金	540千円			
	・一般財源	28,360千円			

平成30年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	健康ポイント制度事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,118	1,132				1,132
(事業内容の説明)					
【事業概要】 「健康づくり」への動機付け及び啓発、健診受診率の向上を目的に、「健康ポイント制度」を継続実施する。 対象事業に参加した者にポイントを付与し、10ポイントに達した者に利用券(500円相当)を贈る。又、年間100ポイント達成者(5,000円相当の商品券の副賞あり)を表彰する。					
(単位:人)					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
10ポイント達成者 (延人数)	1,112	1,337	1,332		
100ポイント達成者 (実人数)	19	29	29		
○ポイント対象事業					
住民健診・人間ドック・健康づくり講演会・健康教室・プール利用(ゆうあいパル・B&G)・公民館高齢者学級・あたまいきいき音読教室(図書館)など 【H30対象拡大分】 乳幼児健診・子育て支援センター利用・食生活改善料理講習・住民健診精密検査など					
【事業費】					
	報償費	1,000千円			
	消耗品費	20千円			
	印刷製本費	112千円			
	計	1,132千円			
≪財源≫					
	一般財源	1,132千円			

平成30年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 4. 予防費

(単位:千円)

事業名		インフルエンザ予防接種事業 (単位:千円)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,004	13,497	1,400			12,097
(事業内容の説明)					
1. 目的 初冬から春先にかけて毎年流行するインフルエンザの蔓延予防と重症化を予防するため全町民に対して予防接種費用の助成を行う。					
2. 対象者					
①65歳未満 (町独自の任意予防接種補助対象者) … 負担金 【H28接種率 38.4%】					
②65歳以上 (予防接種法における定期予防接種対象者) … 委託 【H28接種率 68.4%】					
3. 助成内容					
①65歳未満 1,000円/回					
②65歳以上 3,200円/回					
※生活保護受給者はいずれも全額助成、13歳未満は2回接種					
【事業費】					
	需用費 (消耗品費・印刷製本費)		135千円		
	予防接種委託料		9,633千円		
	予防接種負担金		3,729千円		
	計		13,497千円		
≪財 源≫					
	県支出金 (市町村交付金)		1,400千円		
	一般財源		12,097千円		

平成30年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 介護保険事業費

(単位:千円)

事業名	介護予防事業																		
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																	
		国・県支出金	起債	その他	一般財源														
3,114	3,772			3,772															
(事業内容の説明)																			
【事業概要】																			
<p>一般の高齢者や要支援状態になるおそれのある高齢者を対象とし、介護予防に関する講演会や栄養改善・口腔機能向上、運動器機能の維持・改善を図るための教室を開催し、介護予防に関する知識向上と実践することで要介護状態への移行防止を図る。</p> <p>また、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送るために、地域や介護保険施設等においてボランティア活動を行う「介護支援ボランティア」を養成するための研修を行う。</p> <p>認知症のおそれのある者、予防が必要な者を住民健診や物忘れ相談会、出前型介護予防教室等でのスクリーニングにより把握・選定し、頭の活性化訓練のための教室に参加してもらうことで認知症の予防を図る。</p>																			
【事業メニュー】																			
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講演会 1回 ・栄養改善・口腔機能向上教室 1教室 (2回コース) ・物忘れ相談会 1回×2会場 ・認知症予防教室 (委託) 4教室×月2回 (11月で終了) <ul style="list-style-type: none"> 短期集中教室 1教室×週1回×4月 (11月～2月) フォロー教室 5教室×月2回 (12月～3月) 2教室×月1回 (12月～3月) ・出前型介護予防教室 10集落程度 																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">臨時保健師賃金</td> <td style="text-align: right;">53 千円</td> </tr> <tr> <td>講師等謝金</td> <td style="text-align: right;">304 千円</td> </tr> <tr> <td>事務費等</td> <td style="text-align: right;">75 千円</td> </tr> <tr> <td>認知症予防教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,490 千円</td> </tr> <tr> <td>シニアパワーアップ教室</td> <td style="text-align: right;">817 千円</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td style="text-align: right;">33 千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,772 千円</td> </tr> </table>						臨時保健師賃金	53 千円	講師等謝金	304 千円	事務費等	75 千円	認知症予防教室委託料	2,490 千円	シニアパワーアップ教室	817 千円	自動車借上料	33 千円	計	3,772 千円
臨時保健師賃金	53 千円																		
講師等謝金	304 千円																		
事務費等	75 千円																		
認知症予防教室委託料	2,490 千円																		
シニアパワーアップ教室	817 千円																		
自動車借上料	33 千円																		
計	3,772 千円																		
【財 源】	南部箕蚊屋広域連合負担金				3,772 千円														

平成30年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	温水プール利用促進健康づくり事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,545	2,478				2,478

(事業内容の説明)

温水プールの利用料を助成することによって、施設の利用促進と、町民の自発的・積極的な体力づくり及び健康の改善・保持・増進を図る。

①個人利用 (H25年度～)

- プール利用1回あたり料金310円(未就学児は210円)を助成。
- 1か月あたり4回(週1回)の利用を想定し、年度あたり最大48回分を限度として助成。

②グループ利用 (H26年度～)

- 1人では続かない人やプールを活用した健康づくりに取り組む人を増加させることを目的に家族や友人同士などの2人以上のグループでのプール利用を助成。
- グループ全員が48回を利用した場合には、さらに年度末までの「残り月数×4回分」を助成。

③モニター利用 (H26年度～)

- 水中ウォーキングの効果の検証と健康づくりに対する動機づけを目的に、体重、体脂肪率などを記録するモニターを募集。
モニター登録者には、週2回(月8回)の利用を想定して「年度末までの残り月数×8回」分のプール券と併せて数値などを記録する「プール利用者カード」交付。
※月8回分を想定。使用頻度は問わないが、一定の使用量は願います。
また、プール利用者カードに体重等を記録し、利用券がなくなった時点、または、年度が終了したときには、利用者カードの提出をお願いする。

【助成対象】 伯耆町民

【事業費】

プール券等用紙代	50千円
プール券等印刷代	50千円
温水プール利用促進助成金	2,378千円
計	2,478千円

【利用実績】

単位：円

区分	H27年度			H28年度			H29年度		
	交付者数	利用者数(延)	助成額	交付者数	利用者数(延)	助成額	交付者数	利用者数(延)	助成額
個人利用	194	2,400	743,100	148	2,357	730,670	139	1,798	557,380
グループ利用	53	1,026	317,760	22	586	181,660	34	1,028	318,680
モニター利用	59	3,249	1,007,190	58	3,840	1,190,400	63	3,828	1,186,680
合計	306	6,675	2,068,050	228	6,783	2,102,730	236	6,654	2,062,740

平成30年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	生活困窮者自立支援事業					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			一般財源
国・県支出金			起債	その他		
	7,433	7,853	4,344			3,509

(事業内容の説明)

【事業概要】

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等を行う。

○自立相談支援事業

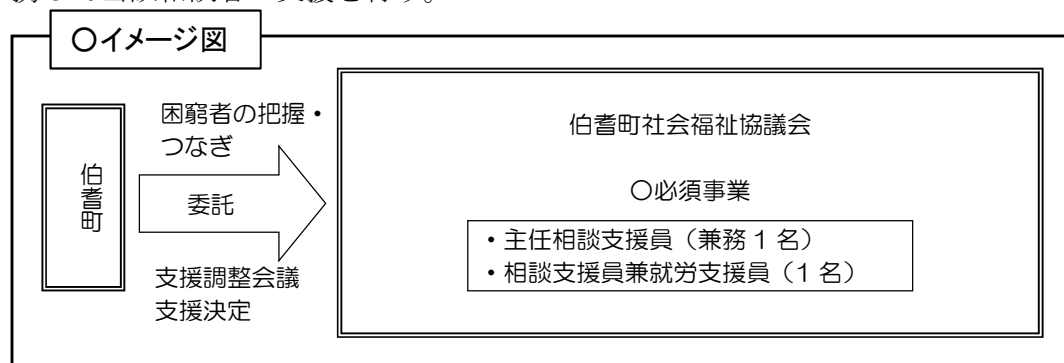
生活困窮者に対する相談窓口を設置し、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3職種を配置する。相談窓口では、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を実施する。

○住居確保給付金

離職を理由に住居を失う恐れがある者に有期で家賃等を支給する。

【実施体制】

伯耆町社協に相談窓口を設置し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の申請受付を行う。相談者の相談内容から必要な支援を検討し、必要に応じて役場、関係機関等と連携して当該相談者の支援を行う。



【連絡先】

伯耆町社会福祉協議会

電話：0859-68-4635

平成30年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名		敬老会助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,997	5,259				5,259
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
<p>多年にわたり地域社会に尽くした高齢者を敬愛し、地域ぐるみで長寿を祝い、地域の中で支えあう安心のまちづくりを促進するため、各自治会で町内の77歳以上の高齢者の長寿を祝う催しを等について助成を行う。</p> <p>対象者： 各年度8月1日現在で77歳以上の者 1,926人 (H29.11現在の住基データにより確認した対象者の見込み数)</p>					
【事業費】					
<p>ア. 各地区公民館等で対象者を主とした敬老会を開催する事業 <対象者数見込み> 938人 [1,926人×48.7%] <補助額> 3,500円/人 <事業費> 938人 × 3,500円 = 3,283,000円 …①</p> <p>イ. 対象者に対して記念品の配布のみを行う事業 <対象者数見込み> 988人 [1,926人×51.3%] <補助額> 2,000円/人 <事業費> 988人 × 2,000円 = 1,976,000円 …②</p> <p style="text-align: center;">計 5,259,000円 (①+②)</p> <p>※アとイの対象者数見込みは前年実績で按分</p>					

事業名		敬老の日贈り物																											
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																											
		国・県支出金	起債	その他	一般財源																								
265	323				323																								
(事業内容の説明)																													
【事業概要】																													
<p>町内在住の90歳、100歳、105歳、最高齢者の記念年齢の方に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。</p>																													
【事業費】																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象者数</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90歳の者</td> <td>89人</td> <td>3,240円</td> <td>288,360円</td> </tr> <tr> <td>100歳の者</td> <td>9人</td> <td>3,240円</td> <td>29,160円</td> </tr> <tr> <td>105歳の者</td> <td>0人</td> <td>3,240円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>町内最高齢者</td> <td>1人</td> <td>5,400円</td> <td>5,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>99人</td> <td></td> <td>322,920円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者数はH29.11現在の住民基本台帳による</p>						区分	対象者数	単価	金額	90歳の者	89人	3,240円	288,360円	100歳の者	9人	3,240円	29,160円	105歳の者	0人	3,240円	0円	町内最高齢者	1人	5,400円	5,400円		99人		322,920円
区分	対象者数	単価	金額																										
90歳の者	89人	3,240円	288,360円																										
100歳の者	9人	3,240円	29,160円																										
105歳の者	0人	3,240円	0円																										
町内最高齢者	1人	5,400円	5,400円																										
	99人		322,920円																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>贈答品</td> <td>カタログギフト</td> <td>カタログギフト</td> <td>カタログギフト</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H27	H28	H29	贈答品	カタログギフト	カタログギフト	カタログギフト																
年度	H27	H28	H29																										
贈答品	カタログギフト	カタログギフト	カタログギフト																										

平成30年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款)3. 民生費

(項)2. 児童福祉費

(目)1. 児童福祉総務費

(単位:千円)

事業名	チャイルドシート購入費補助事業【変更】				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
592	800			800	0
(事業内容の説明)					
<p>チャイルドシートの購入者に対し購入費の補助を行うことにより、チャイルドシートの着用を促進し、乳幼児の死傷事故の防止を図り、安全確保に資するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減することを目的とする。</p>					
<p>【事業内容の変更】 チャイルドシートの貸出(平成29年度まで) → チャイルドシート購入費補助(平成30年度から)</p>					
<p>【補助対象等】・補助金額 購入費×補助率1/2 (上限額10,000円)</p>					
<p>・対象者 伯耆町内に住所を有し、同一世帯で生計を一にする6歳未満の乳幼児のために、国土交通省が定める安全基準に適合するチャイルドシート(ジュニアシート含む)を新品で購入した方 ※平成30年4月1日以降に購入したチャイルドシートが対象 ※中古品や個人売買で購入したもの、また他の補助制度を受けたものは対象外</p>					
<p>・補助回数 乳幼児1人につき1回</p>					
<p>【申請手続】 下記の書類等を持参し、申請を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領収書等(購入日、購入金額及び購入店名が確認できる書類) ・品質保証書等(チャイルドシートの製造元等が確認できるもの) ・振込先がわかるもの ・印鑑 <p>※手続きは、チャイルドシートを購入後、6ヶ月以内。</p>					
<p style="text-align: right;">上限額 申請見込者数</p>					
<p>【事業費】 チャイルドシート購入費補助 10,000円 × 80人 = <u>800,000円</u></p>					
<p>【財源】 伯耆町豊かなふるさと創造基金 800,000円</p>					

平成30年度一般会計予算

提出課:福祉課

(款)3. 民生費

(項)2. 児童福祉費

(目)2. 保育所費

(単位:千円)

事業名		溝口保育所長寿命化改修事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,000	138,654		135,600	3,000	54
(事業内容の説明)					
1. 事業の概要					
老朽化した溝口保育所について、耐久性を高める不具合箇所等の修繕に加え、建物の機能や性能を向上させる改修を行い、施設の長寿命化を図る。					
2. 改修内容 (予定)					
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対策 (屋根防水改修、壁クロス張替・塗装、床研磨、空調更新) ・省エネ化 (ペアガラス交換、LED照明) ・衛生改善 (厨房移設全面改修 (オール電化、ドライ化)、トイレ床ドライ化) ・その他 (フェンス更新、テラスシャワー新設) など 					
3. 工事期間 (予定) 平成30年6月～平成30年12月末					

事業名		ふたば保育所増改築事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	152,162		140,600	11,400	162
(事業内容の説明)					
1. 事業の概要					
保育所入所ニーズの急増に対応するため、保育室の増設による定員の拡大を行う。併せて、衛生面や機能面を向上させる改修を行い、保育環境の充実と施設の長寿命化を図る。					
◎定員の変更について					
改修後は、不足する3歳未満児を中心に定員の拡大を行う予定。 90名 → 105名 (+15名)					
2. 改修内容 (予定)					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育室増設 (混合保育の解消) ・調理室全面改修 (フロア乾式化、オール電化等) ・衛生改善 (トイレ・調理室フロア乾式化) ・省エネ化 (LED照明、ペアガラス) ・長寿命化 (屋根防水等) など 					
3. 工事期間 (予定) 平成30年6月～平成31年1月末					

事業名	こしき保育所園庭拡張事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	39,661		37,400	2,045	216

(事業内容の説明)

1. 事業の概要

保育所入所児童の増加に対応するため、園庭及び駐車スペースの拡張整備を行う。

2. 整備概要

①園庭拡張工事

<拡張場所> 敷地内駐車スペース（園庭東側）の一部を利用

<工事内容> アスファルト舗装撤去、既設フェンス撤去、フェンス新設、プール移設、遊具移設、植栽撤去 など

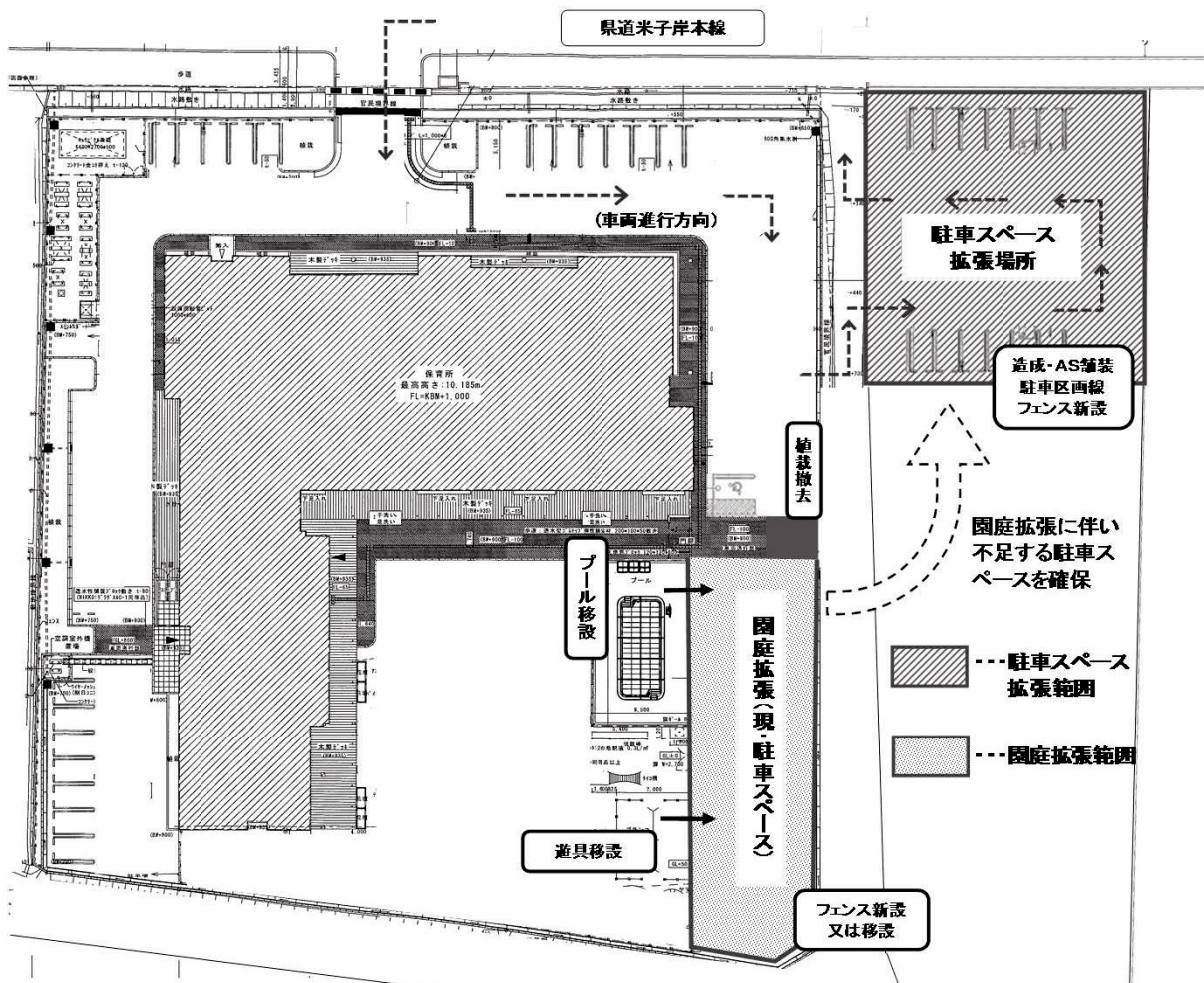
②駐車場拡張工事

園庭の拡張に伴い送迎車両用駐車スペースが不足するため、駐車スペースの拡張整備を行う。

<拡張場所> 保育所に隣接する用地を新たに取得し整備を行う。

<工事内容> 敷地造成、アスファルト舗装、区画線設置、フェンス設置など

3. 整備イメージ図



平成30年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名		太陽光発電システム助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,510	4,950	2,475			2,475
(事業内容の説明)					
町内の自ら居住する住宅に太陽光発電システム等を導入する者に対し補助金を交付する。					
【補助額】					
・太陽光発電システム(1キロワット当り90千円 上限額:1件当り4キロワット)					
360千円×10件 3,600千円					
・家庭用コージェネレーションシステム					
・エネファーム(上限額:1件当り180千円)					
180千円×1件 180千円					
・エコウィル(上限額:1件当り90千円)					
90千円×1件 90千円					
・太陽熱温水器(上限額:1件当り70千円)					
70千円×10件 700千円					
・薪ストーブ、木質ペレットストーブ(上限額:1件当り180千円)					
180千円×1件 180千円					
・定置用蓄電池等<定置用蓄電池・電気自動車等充給電設備>					
(上限額:1件当り200千円)					
200千円×1件 200千円					
合 計 4,950千円					
【財 源】					
鳥取県家庭用発電設備等導入推進補助金(補助率1/2) 2,475千円					

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 5. 動物愛護管理推進費

(単位:千円)

事業名		動物愛護管理推進事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
452	514	50		164	300
(事業内容の説明)					
・狂犬病予防に係る事務費(注射済票等)を計上。					
・住民の利便性向上のため、鑑札と注射済票の発行を県西部の動物病院でも行えるよう、 交付事務を鳥取県獣医師会に委託する。					
・飼い主のいない猫、及び飼い猫の望まれない繁殖を抑制することにより、殺処分数を減少させ、 また糞尿被害等のトラブルを防止するため、不妊去勢手術費用の助成を行う。					
・近年増加している猫の糞尿被害に対し、試用として猫除け器(ガーデンバリア)の貸出を行う。					
・【新規】猫除け器の購入に対し、補助金を交付する。					
(1) 消耗品費(鑑札・注射済票・猫除け器等) 93千円					
(2) 旅費(担当者会出席分) 6千円					
(3) 狂犬病予防接種済票等交付事務委託料 65千円					
(4) 猫不妊・去勢手術費補助金 250千円					
内訳 ・飼い主のいない猫 10件×10,000円 ・飼い猫 30件× 5,000円					
(5) 猫除け器購入補助金 5,000円(上限)×20件 100千円					
【財 源】					
・犬登録手数料 164千円					
・鳥取県猫不妊去勢手術助成事業費補助金 50千円					
(※野良猫のみ 1/2間接補助)					

平成30年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費

(単位:千円)

事業名	町道管理事業																		
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳																	
		国・県支出金	起債	その他	一般財源														
820	1,210				1,210														
(事業内容の説明)																			
ボランティアの育成・支援するために、町道の草刈り等を実施した集落等に、報償金を支払う。																			
<p>■対象となる事業</p> <p>「集落と集落」または「集落と公共施設」を結ぶなど、幹線的な役割を果たす町道の清掃1回の作業延長が200メートル以上の路線で、年2回までの作業が対象</p>																			
<p>■報償金の額</p> <p>年間の作業延長により、次に掲げる額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業延長（年間の累計）</th> <th>報償金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200メートル以上 1キロメートル未満</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>1キロメートル以上 2キロメートル未満</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>2キロメートル以上 3キロメートル未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>3キロメートル以上 4キロメートル未満</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>4キロメートル以上 5キロメートル未満</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td>5キロメートル以上</td> <td>80,000円</td> </tr> </tbody> </table>						作業延長（年間の累計）	報償金の額	200メートル以上 1キロメートル未満	30,000円	1キロメートル以上 2キロメートル未満	40,000円	2キロメートル以上 3キロメートル未満	50,000円	3キロメートル以上 4キロメートル未満	60,000円	4キロメートル以上 5キロメートル未満	70,000円	5キロメートル以上	80,000円
作業延長（年間の累計）	報償金の額																		
200メートル以上 1キロメートル未満	30,000円																		
1キロメートル以上 2キロメートル未満	40,000円																		
2キロメートル以上 3キロメートル未満	50,000円																		
3キロメートル以上 4キロメートル未満	60,000円																		
4キロメートル以上 5キロメートル未満	70,000円																		
5キロメートル以上	80,000円																		
<p>■参考 平成29年度実施団体数 22団体</p> <p>平成30年4月1日現在の申請団体数 24団体</p>																			

平成30年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 3. 道路新設改良費

(単位:千円)

事業名	町道改良事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
277,980	223,320	102,792	116,400		4,128
(事業内容の説明)					
<p>昨年度から引き続き、町道籠原栃原線、町道根雨原大坂線、町道真野藍野線、町道岸本大原線、町道溝口中央線の改良を行う。</p> <p>また、町内の幹線町道・主要町道のうち、公共交通機関通行や緊急車両進入の支障となる狭あい箇所について、改良の検討及び可能な箇所は実施を行う。</p>					
【財源】					
社会資本整備総合交付金		102,792	千円		
過疎対策事業債		47,700	千円		
合併特例事業債		68,700	千円		

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費 5. 橋梁維持費

(単位:千円)

事業名	町道点検事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
25,000	42,500	25,500			17,000
(事業内容の説明)					
<p>町道について、随時、詳細点検を行う。</p> <p>また、橋長2m以上の町道橋については随時定期点検を行っていく。</p>					
【事業費の内訳】					
点検委託料		42,500	千円		
【財源】					
社会資本整備総合交付金		25,500	千円(補助対象額	42,500千円×60%)	

平成30年度一般会計予算

(款) 5. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費 (単位:千円)

事業名	有害鳥獣駆除事業					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
			国・県支出金	起債	その他	一般財源
	12,570	12,988	4,871		471	7,646
(事業内容の説明)						
イノシシ等有害鳥獣による農作物等の被害を防止することを目的とした事業。						
○イノシシ等駆除委託料 2,745千円						
・町内猟友会へのイノシシ等駆除委託料 (6,100円×150人役)×3班(岸本・溝口・二部)= 2,745,000円 負担割合(県1/3、町2/3)						
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一般分) 3,052千円						
・集落、農家等が設置するイノシシ進入防止柵に対する補助 金網等 407,500円×2/3=271,667円 電気柵 4,170,000円×2/3=2,780,000円 合計3,051,667円 負担割合(県1/3、町1/3、集落等1/3)						
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一括購入分) 1,415千円						
・集落等が設置するイノシシ進入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を町が各集落の要望を取りまとめ、一括購入する。 ワイヤーメッシュ柵 1,415,000円 負担割合(県1/3 町1/3 集落等1/3)						
○イノシシ等捕獲奨励金 3,220千円						
・イノシシ捕獲奨励金 300頭×10,000円/頭=3,000,000円						
・シカ捕獲奨励金 10頭×10,000円/頭=100,000円						
・ヌートリア捕獲奨励金 10頭×2,000円/頭=20,000円 負担割合(県1/2、町1/2)						
・シカ捕獲上乗せ 10頭×8,000円/頭=80,000円 負担割合(県10/10)						
・アライグマ捕獲奨励金 2頭×10,000円/頭=20,000円 負担割合(県1/2、町1/2) 合計3,220,000円						
○ツキノワグマ遭遇回避対策事業 370千円						
ツキノワグマが錯誤捕獲された場合の殺処分、放獣に係る経費 ・殺処分 180,000円×1回 ・放獣 190,000円×1回 計370,000円						
○カワウ駆除経費補助 50千円						
○県射撃環境支援事業 250千円						
駆除員の射撃練習に係る経費の一部を支援 10,000円×25名= 250,000円						
○イノシシ捕獲檻購入補助金 550千円						
集落が被害軽減のために購入するイノシシ捕獲檻の購入費用に1/2を助成 @100,000円×4集落11基×1/2= 550,000円						
○有害鳥獣駆除用実包購入助成 158千円						
有害駆除に必要な実包の購入費用の1/2を助成 散弾等 158,000円						
○狩猟免許取得経費助成事業 43千円						
狩猟免許取得に必要な経費を助成 ・銃猟免許経費8,942円×2人=17,884円 ・わな猟免許取得経費8,042円×3人=24,126円 合計42,010円						
○有害鳥獣対策用資機材購入助成 235千円						
捕獲檻、侵入防止柵等、被害対策に必要な補修資機材の購入経費の一部を助成 ・捕獲檻等補修資材 402,600円×1/3= 134,200円 ・駆除員捕獲資材 300,000円×1/3= 100,000円						
○ゴルフ場有害鳥獣対策用資機材購入助成 900千円						
ワイヤーメッシュ、電柵、捕獲檻等のゴルフ場での被害対策用資機材購入経費の一部を助成 ・侵入防止用資材等 (1カ所上限@600,000円×4カ所)×1/3=800,000円 ・捕獲用檻購入 100,000円×3基×1/3=100,000円 合計900,000円						
合計 12,988千円						
【財源内訳】 県補助金 4,871千円(鳥獣被害防止補助金等)						
分担金 471千円(集落からの分担金)						
一般財源 7,646千円						

平成30年度一般会計予算

(款) 5. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費
 提出課 産業課
 (単位:千円)

事業名	鳥獣被害対策実施事業				
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
国・県支出金			起債	その他	
429	2,937	2,304			633
(事業内容の説明)					
イノシシの生息数の増加等の要因により年々鳥獣被害が拡大していることから、鳥獣被害対策協議会及び鳥獣被害対策実施隊が中心となって、農林被害対策の充実を図る。					
<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町鳥獣被害対策協議会 鳥獣対策の関係機関(町内猟友会、町、JA、県等)で構成する協議会で鳥獣被害対策事業を実施 ・伯耆町鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害の緊急対応、追い払い等に従事する専門の実施隊の運営(町内猟友会) 					
○伯耆町鳥獣被害対策協議会					
<ul style="list-style-type: none"> ・委員報償費 3人×2,400円×2回=14,400円 15千円 ・事務用消耗品費(コピー用紙、ファイル等) 7,589円 8千円 ・運営費補助(イノシシ捕獲檻購入に係る補助対象外経費(消費税分)を町で負担) 100,000円×20基×0.08=160,000円 160千円 ・鳥獣被害防止施設整備補助金 2,489千円 協議会の事業として侵入防止柵を設置する経費を協議会に補助する。 2,400m×980円×消費税=2,488,320円(負担内訳 県:2,304千円、町185千円) 					
○伯耆町鳥獣被害対策実施隊					
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬(隊員15名分) 244,000円 244千円 ・事務局員狩猟免許取得経費 更新1名分 4,960円 新規2名分 15,920円 計20,880円 21千円 					
【財源内訳】 県支出金 2,304千円					
一般財源 633千円					

平成30年度一般会計予算

(款) 5. 農林水産業費 (項) 3. 林業費 提出課 産業課 (目) 2. 松くい虫防除費

(単位:千円)

事業名	松くい虫防除事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
20,359	20,639	8,604			12,035
(事業内容の説明)					
<p>特別防除(空中散布)と伐倒駆除等を効果的に組み合わせて実施することにより、松くい虫の被害から松林を守る。</p> <p>伯耆町松くい虫被害対策地区実施計画に定める地区保全松林付近の松林に対し、土地所有者又は管理者が行う薬剤の樹幹注入及び薬剤の地上散布経費を助成する。</p>					
区分 (補助率)	事業量	事業費 千円	県 補助金 千円	町費 千円	内容
特別防除 (5/10～ 6.5/10)	286ha	9,000	4,785	4,215	ヘリコプターによる薬剤散布 (実施区域:丸山、岩立、添谷、父原、船越)
被害防止 (1/2)		439	219	220	特別防除実施に伴う被害防止対策 ・被害防除連絡協議会の開催 17千円 ・散布実施に伴う消耗品 40千円 ・養蜂移転補償 382千円
空中探査 (1/2)	34ha	800	400	400	緊急防除実施に伴い空中から探査を行い被害木を把握
緊急防除 (1/2)	50m3	1,600	800	800	ヘリコプターのガンノスルによる薬剤散布 (実施区域:父原、船越)
伐倒駆除 (1/2)	100m3	1,500	750	750	被害木を伐倒後、薬剤処理し駆除 (実施区域:溝口地区、日光地区)
特別伐倒 (1/2)	150m3	3,300	1,650	1,650	被害木を伐倒後、チップ状に破碎し駆除 (実施区域:丸山)
被害拡大防止 支援補助金		2,000	—	2,000	対象事業:樹幹注入・地上散布 対象地区:町内ゴルフ場
		2,000	—	2,000	対象事業:特別伐倒駆除・伐倒駆除・樹幹注入 対象地域:ロイヤルシティ大山リゾート地内
合計		20,639	8,604	12,035	

平成30年度一般会計予算

提出課 産業課

(款) 5. 農林水産業費 (項) 3. 林業費 (目) 5. ナラ枯れ対策費

(単位:千円)

事業名	ナラ枯れ対策事業				
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
国・県支出金			起債	その他	
14,705	24,015	24,015			0
(事業内容の説明)					
<p>カシナガキクイムシによるナラ類樹木の枯損が大山を中心に広域化しており、県西部の市町村では鳥取県を事務局として大山広域ナラ枯れ被害対策協議会を設置して、その対応を進めている。 本町でも、大山周辺を中心にナラ枯れが確認されており、この事業により被害拡大の防止を図る。 また、大山開山1300年祭関連イベント等が開催されることから合わせて景観対策等の実施を行う。</p>					
○事業内容:被害木処理委託料					
<ul style="list-style-type: none"> ・カシナガトラップ購入費(450基) 3,938 千円 ・カシナガトラップ設置撤去 1,260 千円 ・カシナガトラップ巡回 5,145 千円 ・立木くん蒸 3,600 千円 ・ビニール被覆撤去(H26・27年度設置分) 1,200 千円 					
合計 15,143 千円					
○大山開山1300年祭関連事業					
<ul style="list-style-type: none"> ・粘着シート設置法(ペットボトルトラップ) 440 千円 ・立木シート被覆 4,650 千円 ・伐倒駆除 3,782 千円 					
合計 8,872 千円					
総計 24,015 千円					
○補助率:国・県10/10					

平成30年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 事務局費

(単位:千円)

事業名	コミュニティスクール推進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,348	3,098	1,559			1,539
(事業内容の説明)					
コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」を設け、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などに意見を述べたりすることを通じて、地域の意見を学校運営に反映させる仕組み。					
学校運営協議会は、学校運営の基本方針の修正・承認を行うほか、教育活動の評価などを行う。主に、学力や体力向上への取組、家庭との連携、教育活動への地域の物的・人的資源の活用などについて協議する。					
【本町指定校】		(事業費)			
岸本小学校	平成29年4月1日再指定～3年間		委員謝金・研修会講師謝礼		824千円
八郷小学校	〃		CSディレクター謝金【新規】		1,748千円
溝口小学校	平成28年4月1日新規指定～3年間		事務費等		526千円
溝口中学校	平成28年4月1日新規指定～3年間		計		3,098千円
岸本中学校	平成30年4月1日新規指定～3年間				
二部小学校	平成30年4月1日新規指定～3年間				
【財源内訳】		コミュニティ・スクール導入等促進事業(国1/3・県1/3)		1,559千円	

(款) 9. 教育費

(項) 1. 教育総務費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位:千円)

事業名	地域学校協働本部事業(名称変更)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,096	4,483	2,988			1,495
(事業内容の説明)					
地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図る。					
各関係団体等で実行委員会・地域教育協議会を設置し、地域学校協働事業の企画実施、地域コーディネーター等の養成・活動等を行う。					
(活動計画)		(主なボランティア活動)			
統括コーディネーターの設置(1人)		<学習支援型> 補習授業(伯耆未来塾)			
学校支援コーディネーターの設置(6人)		体験学習補助			
実行委員会(年3回)		本の読み聞かせ			
地域教育協議会(年1回)		戦争体験の講話 など			
事業成果報告会(年1回)		<環境整備型> ペンキ塗り			
定例会(毎月)		校庭・花壇の清掃・除草 子どもと一緒に掃除 など			
(支出内訳)					
報償	4,118千円	学校支援コーディネーター活動謝金、伯耆未来塾講師謝金 実行委員会・地域教育協議会謝金等			
旅費	19千円	研修会参加旅費			
需用費	166千円	消耗品費			
役務費	180千円	通知郵券料・ボランティア活動保険			
計	4,483千円				
(財源内訳)					
学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金		2,988千円(国1/3、県1/3)			

平成30年度一般会計予算

(款) 9. 教育費 (項) 4. 社会教育費 (目) 2. 公民館費 (単位:千円)

提出課 教育委員会

事業名	岸本公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,308	7,328			22	7,306
(事業内容の説明) 町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議委員)			64千円	
	賃金(臨時職員1名、管理代行員)			2,606千円	
	旅費(普通旅費)、公課費(自動車重量税)			23千円	
	需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕料等)			2,377千円	
	役務費(通信運搬費等)			207千円	
	委託料(保守点検委託料、施設管理委託料等)			1,967千円	
	使用料及び賃借料(マット等使用料)			84千円	
	合計			7,328千円	
(財源内訳)					
	公民館使用料	15千円	雑収入(コピー料)	7千円	

事業名	岸本公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,092	1,093				1,093
(事業内容の説明) 各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(松栄学級)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間10回)					
	報償費(講師謝金等)			71千円	
	旅費			10千円	
	小計			81千円 ①	
2. 成人講座、男性講座					
成人を対象に、盆踊り講習会のほか各種講座を開催し、学習と交流を図る。(年間8回程度)					
	報償費(講師謝金)			37千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			10千円	
	小計			47千円 ②	
3. 子ども体験活動					
小中学生を対象に、自然体験・郷土学習などとおして、子どもの豊かな心を育む。(年間6回程度)					
	報償費(講師謝金)			18千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			11千円	
	小計			29千円 ③	
4. 家庭教育講演会					
保育所、小中学校、その他関係団体と連携し講演会を開催し、家庭での教育力の向上を図る。					
	報償費(講師謝金)			30千円 ④	
5. 町民運動会岸本地区大会					
岸本地区の町民総スポーツの中心的事業として、実行委員会方式で開催する。(10月1日予定)					
	負担金補助及び交付金(岸本地区運動会補助金)			649千円 ⑤	
6. 岸本公民館きないや祭(岸本地区文化祭)					
公民館内外の活動の成果を発表し、広く住民のふれあいと交流を図る。(11月18、19日予定)					
	報償費(参加賞)			79千円	
	需用費(消耗品費、賄材料費等)、役務費			80千円	
	委託料(パネル設置等委託料)、使用料及び賃借料			98千円	
	小計			257千円 ⑥	
	合計(①～⑥)			1,093千円	

平成30年度一般会計予算

(款) 9. 教育費 (項) 4. 社会教育費 (目) 2. 公民館費 (単位:千円)

事業名		二部公民館管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,700	2,112			101	2,011
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中、生涯学習の拠点のみならず、地域の活性化センターの役割を果たすため、住民が気楽に利用できるよう円滑な施設管理運営を図る。					
(支出内訳)		報酬(公民館運営審議委員)		53千円	
		賃金(たたらまつり補助臨時賃金)		225千円	
		旅費		12千円	
		需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕費等)		976千円	
		役務費(通信運搬費、火災保険料、手数料)		104千円	
		委託料(保守点検委託料、施設管理委託料)		314千円	
		使用料及び賃借料(土地借上料、マット等使用料等)		328千円	
		備品購入費(図書購入費)		100千円	
		合計		2,112千円	
(財源内訳)		公民館使用料		1千円	
		伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)		100千円	

事業名		二部公民館生涯学習事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
676	665				665
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、多々楽学園、女性学級、たたらまつり(公民館まつり)等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(多々楽学園)		二部地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。			
		報償費(講師謝金等)		46千円	
		旅費(町外研修職員旅費、講師派遣旅費)		6千円	
		小計		52千円	①
2. 女性学級		町内に居住する女性を対象に、町内外研修、各種講習会、ものづくり教室など年間10回程度開催する。			
		報償費(講師謝金)		40千円	
		旅費(町外研修職員旅費)		8千円	
		需用費(消耗品費)		16千円	
		小計		64千円	②
3. 生涯学習講座		夏休みのお楽しみ事業、各種団体等との交流会、各種体験教室等の事業を開催する。			
		報償費(講師等謝金)		47千円	
		需用費(消耗品費)		29千円	
		小計		76千円	③
4. たたらまつり(2月下旬開催予定)		二部公民館を会場に作品展示、農産物販売などを開催。期日、内容等は実行委員会で決定			
		報償費(特別展講師謝金、出品者参加賞)		98千円	
		需要費(消耗品費、食糧費、印刷製本費)		89千円	
		役務費(クリーニング手数料)		10千円	
		使用料及び賃借料(リユース食器使用料)		13千円	
		小計		210千円	④
5. 町民運動会		二部地区大会 地域住民の健康増進と親睦を深めることを目的に実行委員会方式で開催する。			
		負担金補助及び交付金(二部地区運動会補助金)		263千円	
		小計		263千円	⑤
		合計(①～⑤)		665千円	

平成30年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	溝口公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,177	2,033			18	2,015
(事業内容の説明)					
町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
		報酬(公民館運営審議会委員)		53千円	
		賃金(臨時職員1名)		1,676千円	
		旅費		21千円	
		需用費(消耗品費、食糧費、燃料費、修繕料)		185千円	
		役務費(手数料、火災保険料)		74千円	
		使用料及び賃		24千円	
		合計		2,033千円	
(財源内訳) 溝口公民館使用料 18千円					
事業名	溝口公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
835	882				882
(事業内容の説明)					
各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(貴寿美学園)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間14回程度)					
		報償費(講師謝金等)		66千円	
		旅費		13千円	
		小計		79千円	①
2. 生涯学習支援講座					
(1) 成人講座(年7回程度)					
成人を対象に、学習機会を提供し、親睦と交流を図る。					
		報償費(講師謝金)		45千円	
		需用費(消耗品費)		8千円	
		小計		53千円	②
(2) 子どもの体験活動の充実講座(年14回程度)					
小中学生を対象に、いろいろな体験活動・郷土学習などを通して、子どもの豊かな心を育む。					
		報償費(講師謝金)		61千円	
		賄材料費(調理実習の材料費)		30千円	
		需用費(消耗品費)		47千円	
		小計		138千円	③
(3) 未就学児保護者対象家庭教育支援講座(年5回程度)					
未就学児保護者に学習する機会を提供し、家庭の教育力向上を図る。					
		報償費(講師謝金)		50千円	
		需用費(消耗品費)		7千円	
		小計		57千円	④
3. 町民運動会溝口地区大会の開催。実施時期:10月中旬					
溝口地域の住民の健康維持と親睦を図るため、運動会を実施する。実行委員会方式で開催する。					
		負担金補助及び交付金(溝口地区運動会補助金)		365千円	
		小計		365千円	⑤
4. 公民館まつりの開催。実施時期:平成31年3月					
公民館内外の活動の成果を発表し広く住民のふれあいと交流を図る。					
		報償費(講師謝金等)		109千円	
		需用費(消耗品費、食糧費、賄材料費)		65千円	
		使用料及び賃借料(リユース食器、ガスボンベ使用料)		16千円	
		小計		190千円	⑥
		合計(①~⑥)		882千円	

平成30年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名		日光公民館管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,957	2,848			102	2,746
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中で地域づくりと自己実現の生涯学習拠点施設の管理運営を行う。					
(支出内訳)					
				報酬(公民館運営審議会委員)	53千円
				賃金(公民館祭補助臨時職員)	270千円
				旅費	16千円
				需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料等)	1,103千円
				役務費(通信運搬費、火災保険料等)	187千円
				委託料(施設清掃、施設保守委託料)	958千円
				使用料及び賃借料(土地借りげ料等)	161千円
				備品購入費(図書購入)	100千円
				計	2,848千円
(財源内訳)					
				伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)	100千円
				公衆電話委託手数料	2千円

事業名		日光公民館生涯学習事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
704	684				684
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、高齢者教室(日光学園)、世代間ふれあいセミナー、ふるさと学級、ふるさとまつり(公民館まつり)、町民運動会日光地区大会、伯耆町駅伝等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(日光学園)					
日光地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
				報償費(講師謝金等)	39千円
				旅費(町外研修職員旅費)	8千円
				需用費(消耗品費)	10千円
			小計		57千円 ①
2. 世代間ふれあいセミナー					
小学校と公民館が連携した体験交流事業、地域性を生かしながら、幅広い年代層での体験交流事業、地域の伝統を継承し事業を実施。					
				報償費(講師謝金)	50千円
				需用費(消耗品費)	11千円
			小計		61千円 ②
3. ふるさと学級					
日光地区に伝わる、食、文化各行事を通じて、後世に伝えると共に地域の伝統文化を再発見する。					
				報償費(講師謝金)	40千円
				旅費	6千円
				需用費(消耗品費)	9千円
			小計		55千円 ③
4. ふるさとまつり					
公民館活動の成果発表の場、地域住民の出会い、ふれあい、ふるさと再発見を目的とした交流の場					
				報償費(講師謝金)	68千円
				需用費(消耗品費、食糧費等)	68千円
				リユース食器使用料	17千円
			小計		153千円 ④
5. 町民運動会日光地区大会					
町民の健康増進と親睦を深める大会。実行委員会を組織し住民参画により企画運営を図る。					
				日光地区運動会補助金	223千円 ⑤
6. 伯耆町駅伝					
駅伝大会を開催し、健康づくりと親睦を深め、地域の活性化を目指す。					
				需用費(消耗品費、賄材料費等)	116千円
				リユース食器使用料	19千円
			小計		135千円 ⑥
			合計(①～⑥)		684千円